

## 第5学年国語科学習指導案

日 時 平成16年10月29日(金) 5校時  
児童数 男14名 女8名 計22名  
授業者 金 崎 晋  
場 所 2F ふれあいルーム

- 1 単元名 「地球環境について考えよう」  
教材名 『子ども環境会議』を開こう - 光村図書出版5年下

### 2 単元について

#### (1) 教材について

前の2つの教材「一秒が一年をこわす」「ホテルのすむ水辺」は、人間が便利な生活を追い求めてきた結果、地球環境に大きな影響を与え、とり返しのつかないことをしようとしていること、人間のために住みかを失った生き物に対し我々はどうしたらよいのかを考えさせられるものである。

本教材は、前の教材で学習したことや考えたことをもとに、新聞やビデオ、インターネットなどの資料を活用することによって、2つの教材との関連をもたせながら資料の確かさを心がけさせることにより資料を活用しながら自分の考えを話すために成果を上げられるものとする。

#### (2) 児童について

児童は、今年度「話し合って、問題を解決しよう」5年上 で進行における司会や記録の重要性など会議の進め方や出された意見をまとめていく方法を学習している。また「わたしたちの学校生活」5年上 で自分の考えを相手に伝えるために文章をまとめ、わかりやすい発表の仕方について学習した。また、友達の意見のよいところを自分の意見にとり入れ考えを訂正したり、複数出た考えからよりよい意見にまとめようとしたりする児童もあり、お互いに声を掛け合い互いに高め合える学級である。

5年生になってからの半年間、朝の会や帰りの会にスピーチを行い、学級の中で話をするには大分慣れている。グループでの話し合いでは、自分の考えを話したり相手の気持ちを考えながら話を聞いたりすることができる。しかし話の内容により、全体の場になると最後まで聞くことが不十分であることがある。

#### (3) 指導にあたって

自信をもった発表ができるように、根拠を明らかにした発表原稿を準備させたい。そのために、前の2つの教材「一秒が一年をこわす」「ホテルのすむ水辺」を読み、地球環境について興味をもたせるとともに、身近な環境にも目を向けさせたい。そして、総合的な学習との関連を図りながら環境問題について、意欲をもった調べ活動を進めていきたい。

調べた内容をまとめる学習、それをわかりやすく発表するための練習、話し合いの場面を国語の学習と捉え指導にあたりたい。活発な意見交流が行えるように、発表者の意図をつかみながら聞けるように聞く態度についても指導していきたい。

### 3 研究テーマとの関連

本実践では、自分の考えをわかりやすく伝える力を深めるため、教材文を読み、身の回りの環境について調べ、それについての自分の考えをわかりやすく伝えるために発表のポイントについて学習する。その際、話形やモデルを示し、それを参考に練習をする。

発表練習の段階では同じ課題について調べたグループで発表練習をし、自己評価・相互評価をする力を育てるとともに計画的な話し合いをするためにはどのような意見の出し方がよいのかを考えさせていきたい。

本単元では、次の5つ意識を言語活動に明確に位置付けていく。

相手意識 ~ 同じグループの友達に対して

目的意識 ~ 調べた内容の報告と自分の考えをわかりやすく発表するために

場面状況意識 ~ グループ練習，学級の話し合いの中で

方法意識 ~ レジユメをもとに発表することで

評価意識 ~ 友達の発表を自分の考えと比べながら聞き，自分の発表を振り返ることで

### 4 単元目標および評価規準

自己の課題について調べたことを整理して資料を作り、「子ども環境会議」を開いて、考えを深める。

観 点		評 価 規 準	評価場面（分析方法）
国語への 関心・意欲・態度		・身の回りの環境問題について自分にできることは何かを考えようとしている。	・ ノート 記録分析 ・ 観察 記録分析
能 力	話す・聞く	・調べた内容と自分たちの考えについて、話しの組み立てを工夫し、資料を活用しながら発表している。	・ 観察 発言分析 ・ 振り返りカード 記録分析
		・会議の進め方を理解し、環境問題について自分の立場を明確にして積極的に意見を出し合っている。	・ 観察 発言分析 ・ 振り返りカード 記録分析
	書く	・調べたことの中から必要な事項や資料を選び整理している。	・ノート 記録分析
		・図やグラフを活用し、説得力のある資料を作っている。	・発表資料 記録分析
言 語 事 項		・発表，話し合いの場で使われる敬語の使い方に慣れている。	・ 観察 発言分析 ・ 振り返りカード 記録分析

## 5 指導計画（8時間扱い）

次	時	指導場面	学習計画	評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	研究テーマとの関連
					A(十分満足)	B(概ね満足)		
一	1	一斉 個別	2つの教材文を読み身の回りの環境問題についての課題をもつ。	・身の回りの環境問題について、自分で調べる課題をもとうとしている。(関心)	・環境問題についての課題をもち、調べ活動の計画を立てようとしている。	・身の回りの環境問題について、自分で調べる課題をもち、調べようとしている。	・可能な調査活動の紹介をしたり、友達の意見を聞いたりして課題をもたせる。	自己評価
二	3	一斉 個別	調べたことがうまく伝わるように工夫して資料をまとめる。	・調べたことから必要な事項や資料を選び整理している。(書) ・図やグラフを活用し、資料を作っている。(話・聞)	・調べたことの中から必要な事項や資料を選び整理している。 ・図やグラフを活用し、説得力のある資料を作っている。	・調べたことの中から必要な事項や資料を選んでいく。 ・図やグラフを活用し、資料を作っている。	・自分で調べた資料の大事なところに線を引かせる。	自己評価 相互評価
三	1 (本時)	一斉 グループ	同じ課題のグループ毎に発表練習をし、お互いの発表を評価し合う。	・調べた内容と自分の考えについて、話の組み立てを工夫し、資料を活用しながら発表している。 (話・聞、言語)	・話の組み立てを工夫し、効果的に資料を示しながら発表している。	・話の組み立てを工夫して資料を活用しながら発表している。	・事前に原稿を作成させ、発表できるようにする。	発表のし方のモデル提示 相互評価
	1	一斉 グループ	学級内を3つのグループに分け発表会を行う。	・会議の進め方を理解し、環境問題について意見を出し合っている。 (話・聞、言語)	・会議の進め方を理解し、環境問題について積極的に意見を出し合っている。	・会議の進め方を理解し、環境問題について意見を出し合っている。	・発表原稿を基に環境問題についての自分の考え方をもちたせる。	相互評価
	1	一斉	自分たちにできそうな提案を選び具体的な方法を考える。	・身の回りの環境問題について自分にできることは何かを考えようとしている。(関心)	・身の回りの環境問題について自分にできることは何かを考え発表している。	・身の回りの環境問題について自分でできることは何かを考えようとしている。	・友達の意見を参考にし、自分にできそうな取り組みを考えさせる。	自己評価 相互評価
四	1	一斉	より確かな情報を得るため方法を確認する。	・確かな情報の得方や伝え方について振り返っている。(関心)	・確かな情報の得方や伝え方について考えている。	・確かな情報の得方について考えている。	・同じ対象についての複数の資料を提示し、比較させる。	自己評価

## 6 本時の指導

### (1) 目標

自己の課題について調べた内容と自分の考えについて話の組み立てを工夫し、発表の練習をすることができる。

### (2) 具体の評価規準

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援
話の組み立てを工夫し、効果的に資料を示しながら発表の練習をしている。	話の組み立てを工夫し、資料を活用しながら発表の練習をしている。	事前に原稿を作成させ、それをもとに発表できるようにする。

### (3) 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 と 評 価
とらえる 5分	1 発音・発声練習をする 2 学習課題を確認する 話の組み立てを工夫し、資料を活用して発表の練習をしよう	声の大きさと間のとり方に気を付け、発表を意識させる。
みとおす 5分	3 発表するときの手順と発表のとき大切なことを確認する。 組み立てのポイント ・ 調べたこと、内容、結果、わかったこと 自分の考え 発表するときのポイント 資料を見せるとき ・ 注意をうながす ・ 指し示す ・ 間を空ける	発表のモデルを見ながら資料の提示のし方のポイントを確認する。 ・ 資料の提示の仕方 ・ 話す早さ 発表者が話しやすいように聞く側の態度にも気をつけさせる。 ・ 友達の考えを自分の考えと比べながら聞く。
ふかめる 30分	4 発表の練習をする ・ 発表するグループ 調べたこと 結果 わかったこと 考察 取り組み提案 ・ 聞くグループ 友達の良い点を見つけられる 5 発表練習を振り返る	調べた資料を十分に活用できるようにする。 ・ 資料の掲示場所を十分に確保する。 ・ 発表者にレジユメを作成させておき、それをもとに発表できるようにする。 話の組み立てを工夫し、資料を活用しながら発表の練習をしているか。 友達の良いところを見つけ評価できるようにする。 ・ よかった点は次時の自分の発表にもとり入れられるようにする。 友達の発表を聞き、よさに気付くことができたか。 ・ 発表の組み立てについて ・ 資料の活用の仕方について

ま と め る  5 分	6 今日の学習を振り返る	自分のがんばりをふりかえる ・ 自分のがんばりを自己評価し、次時の会議で自信をもって自分の考えを発表できるようにする。
	7 今後の学習の確認をする	

(4) 板書計画

<p>発表のポイント</p> <p>組み立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたこと</li> <li>・ 内容</li> <li>・ 結果</li> <li>・ わかったこと</li> <li>・ 自分の考え</li> </ul> <p>資料を見せながら話す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 注意をうながす</li> <li>・ 指し示す</li> <li>・ 間を空ける</li> <li>・ はっきり話す</li> </ul> <p>お互いの話し方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まねをする</li> <li>・ アドバイスをする</li> </ul>	<p>「子ども環境会議」を開こう</p> <p>話の組み立てを工夫し、資料を活用して発表の練習をしよう</p>
---	---